

科目ナンバー	EDU-1-023j			科目名	こどもの生活と学び		
教員名	後藤 さゆり			開講年度学期	2020年度 前期	単位数	2
概要	この授業では、子供の発達・自己形成を他者や環境との関係性から捉え直すことで、子供の学びの日常との連続性について理解を深めます。特に、子供のことばの獲得と体験的学びに焦点を当て、遊び、社会環境を生かし、一体的に扱うことによって深められる学びのおもしろさ、深さについて考えます。授業では体験的な活動を取り入れ、共愛子供園での演習を行います。特に、他者としての子供を理解するために、絵本という共通の世界を道具として、他者と世界を共有することの楽しさと課題について、園児への読み聞かせを通して学びます。						
到達目標	幼児期のことばの獲得のプロセスや自己形成とのかかわりについて理解する。特に、体験的な活動や生活と幼児の学びとのかかわりから子供理解を深める。子供の成長と家族との関わりについて理解を深め、関係性や学力の観点から家庭生活への関心を高める。また、幼児教育と小学校教育の連続性について理解を深め、実際の教育現場等で役立つ実践力を身につける。						
「共愛12の力」との対応							
識見		自律する力		コミュニケーション力		問題に対応する力	
共生のための知識	○	自己を理解する力		伝え合う力	○	分析し、思考する力	
共生のための態度	○	自己を抑制する力		協働する力	○	構想し、実行する力	
グローバル・マインド	○	主体性		関係を構築する力	○	実践的スキル	
教授法及び課題のフィードバック方法	体験的な学びを多く取り入れ、理論と体験が経験となるよう反省的思考に重きを置いて進めます。本授業ではこども園での演習と演習記録の提出、グループワークと発表、個人レポートの提出を行います。各課題に対し、適宜総評を伝えます。						
アクティブラーニング		○	サービスラーニング			課題解決型学修	
受講条件 前提科目	子供園での実習を行うため、毎年対象となる園児の人数によって増減しますが、概ね30名で履修制限をします。シラバス授業で出席登録者のうち、優先順位は、第1に児童教育コース学生、第2に、抽選とします。履修制限があるため、履修放棄はできません。						
アセスメントポリシー及び評価方法	平常点(授業中の参加の態度10%、子供園演習の態度・レポート30%、小レポート10%)、期末課題レポート40% 平常点では、協働する力としてグループへの貢献度、子供園実習では、伝え合う力、関係を構築する力、主体性、レポートでは識見として課題理解度を総合的に評価します。						
教材	『共愛学園前橋国際大学ブックレットV 大人になることのレッスン』を副教材とします。必要に応じて、教材を指定したり、プリントを配布したりします。						
参考図書	小学校学習指導要領解説家庭編、岡本夏木『幼児期—子どもは世界をどうつかむか—』岩波新書、岡本夏木『子どもとことば』岩波新書、村中李衣『文化と子ども』建帛社、村中李衣『子どもと絵本を読みあう』ぶどう社、田中孝彦『子ども理解 臨床教育学の試み』岩波書店、高橋たまき他『遊びの発達学 基礎編』培風館、江藤恭二他『子どもの教育の歴史その生活と社会背景をみつめて』名古屋大学出版会、秋田喜代美『本を通して絆をつむぐ』北大路書房、矢野智司『幼児理解の現象学—メディアが開く子どもの生命世界(幼児教育 知の探究)』萌文書林、矢野智司『大人が子どもにおくりとどける 40の物語: 自己形成のためのレッスン』ミネルヴァ書房、浜田寿美男『子ども学序説 変わる子ども、変わらぬ子ども』、柏木恵子『子どもが育つ条件』岩波新書、本田和子『子どもが忌避される時代—なぜ子どもは生まれてくなくなったのか』新曜社、内田伸子『子育てに「もう遅い」はありません』						
内容・スケジュール							
1週目							
授業学修内容	ガイダンス						
授業外学修内容	授業後、課題プリントを読んでおくこと。					時間数	1
2週目							
授業学修内容	子供の生活と大人の関わり						
授業外学修内容	ディスカッションした内容をまとめて次回に提出する。					時間数	2
3週目							
授業学修内容	メディアとしての絵本						
授業外学修内							

容	課題レポートのための資料にあたる。	時間数	2
4週目			
授業学修内容	子供の世界と絵本の読みあい1		
授業外学修内容	読み聞かせに関する課題プリントを読む。課題レポートのための資料にあたる。	時間数	2
5週目			
授業学修内容	子供の生活世界の共有1(共愛子供園)		
授業外学修内容	子供園実習についてまとめる。課題レポートを作成する。	時間数	2
6週目			
授業学修内容	子供の世界と絵本の読みあい2		
授業外学修内容	読みあいに関する課題プリントを読む。課題レポートを完成させて次回提出する。	時間数	3
7週目			
授業学修内容	子供の生活世界の共有2(共愛子供園)		
授業外学修内容	子供園実習についてまとめる。子供の読書環境についての資料にあたる。	時間数	2
8週目			
授業学修内容	子供の世界と絵本の読みあい3		
授業外学修内容	課題プリントを読む。子供の読書環境についての資料にあたる。	時間数	2
9週目			
授業学修内容	子供の生活世界の共有3(共愛子供園)		
授業外学修内容	子供園実習についてまとめる。子供の読書環境についての資料にあたる。	時間数	2
10週目			
授業学修内容	絵本の読みあいから考える		
授業外学修内容	課題プリントを読む。子供の読書環境についてのレポートを作成する。	時間数	2
11週目			
授業学修内容	遊びと発達(DVD)		
授業外学修内容	子供の読書環境に関する課題レポートを完成させて次回提出する。	時間数	3
12週目			
授業学修内容	からだからことばへ		
授業外学修内容	課題プリントを読む。子供の自己形成と生活に関する課題レポートの資料にあたる。	時間数	2
13週目			
授業学修内容	子供の学びと社会環境1(DVD)		
授業外学修内容	子供の自己形成と生活に関する課題レポートの資料にあたる。	時間数	2
14週目			
授業学修内容	子供の学びと社会環境2 事例から考える		
授業外学修内容	子供の自己形成と生活に関する課題レポートをまとめる。	時間数	2
15週目			
授業学修内容	子供の自己形成と生活		
授業外学修内容	子供の自己形成と生活に関する課題レポートを完成させて提出する。	時間数	3
上記の授業外学修時間の合計		32	
その他に必要な自習時間		58	

Number	EDU-1-023-j	Subject	Life and Learning of Children			
Name	後藤 さゆり (Goto Sayuri)	Year and Semester	S First semester for 2020	Credits	2	
Course outline	0	In this course, by reconsidering children's development and self-formation from their relationship with others and their environment, we will deepen our understanding of the connection between children's learning and everyday life. In particular, we will focus on children's experiential learning. We will think about the fun and depth of learning through their's body, which is deepened by using play, nature, and the neighboring community as one unit. In this course, we will include experiential activities, also observing and practicing teaching at Kyoai Gakuen Nursery School. In particular, to understand children as other people, we will use the common world of picture books as a tool to learn about the fun of sharing a world with other people and about related issues.?				